

3M™ 取替え式防じんマスク 3000/5744J-RS2装着方法

1 ホルダーにろ過材を入れる



ろ過材の印刷面が見える向きで、ホルダーカバー側（8本のガイドピンのある方）にろ過材をセットします。両手の親指でろ過材の中央部を軽く押し、ろ過材のブリーツをガイドピンの間になじませます。

2 ホルダーを閉じる



ホルダーの本体側をカバーの方にかぶせてホルダーを閉めます。カバーの端のラッチ部分を親指で強く押し、「パチン」と音がするまで確実に閉めてください。

3 ホルダーを面体に取り付ける



面体とホルダーの▲の印を合わせ、「パチッ」と音がするまでホルダーを面体に強く押しつけて取り付けます。

4 ハーネスを頭にのせる



マスク本体を片手で持ち、ハーネスを頭頂部にのせるようにかけます。この時ひものよじれがないようにかけてください。

5 しめひもをひく



しめひもを左右に引いていくと、マスクが滑るように顔に近づいてきます。アゴと鼻が覆われるように注意しながらマスクを当てます。アゴを突き出すようにし、マスクに乗せるように行ってください。

6 バックルを掛ける



首の後ろでバックルを掛け、しめひもの長さを調整します。この時、しめ過ぎに注意してください。

7 漏れ込みがないか確認



最後にマスクと顔の密着の良い場所に合わせるようにもう一度位置を調整してください。これで装着完了です。

Point 1 密着性の検査



ユーザーシールチェックシートを貼り付けた状態で、軽く息を吸い込みます。面体が顔に吸いつくように感じられれば良いフィットが得られています。顔と面体の間から空気が漏れ込むようであればマスクの位置やしめひもの強さを調整しなおしてください。

ユーザーシールチェックシートはホルダーの吸気口をふさぐように貼り付けます。



ユーザーシールチェックシートがない場合は、両手のひらでホルダーの吸気口をふさぐことで密着性の確認が行えます。



Point 2 アゴと鼻に要注意

マスクの位置がアゴからずれると、鼻の位置もずれることになり漏れ込みの原因になります。
3M™ 取替え式防じんマスク3000/5744J-RS2にはS/M、M/Lの2サイズがあります。ご自分に合ったサイズを選んでください。



3Mは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社
安全衛生製品事業部
<http://go.3M.com/psd>

カスタマーコンタクトセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-011-321**

9:00～12:00/13:00～17:00 月～金(土日祝年末年始は除く)